



5月26日(月)、地元を元気にする活動をしているとして、共生・協働の農村づくり運動推進協議会(会長:伊藤県知事)から倉野地区が会長賞を受賞。同地区は転作で大豆を作り、それを利用した豆腐作りなど、地区をあげた取り組みが評価されました。

通臨
倉野の村づくりが表彰されました!



西方女性防火クラブ(写真右:手打陽子会長、写真中央:橋口恵子副会長)が、日本消防協会から優良婦人消防隊として表彰され、森卓朗市長を表敬訪問しました。同クラブは、平成12年2月に結成。高齢者防火訪問や火災報知機設置推進にも努めています。

川内
地域の安全見守ります
優良消防隊表彰受賞



水引町の今村幸次(旧姓:橋口)さん(65歳)が、自宅~太平橋の往復25kmを、自転車で平成16年から走り始めて、5月12日で地球一周の約半分21,000kmを走破しました。現在も継続中。薩摩半島一周233kmの旅など、長距離にも挑戦され元気いっぱいです。

川内
健康維持と気分転換に
自転車を楽しんでます



5月12日(月)、市社会福祉協議会本所で、向田町の鶴永義文さん(89歳)から高齢者福祉支援車1台が寄贈されたことによる納車式が行われました。この支援車は、市老人クラブ連合会で利用され、高齢者福祉の増進に役立てられます。

川内
大切に利用します
高齢者福祉支援車寄贈



本年、陽成小学校が「人権の花」運動に取り組めます。この運動は、ヒマワリの栽培を通して、優しい心と思いやりの心を育て、相手の立場に立った行動や感謝する心を育てようとするものです。先ごろ同運動に先立ち児童たちに種などが贈呈されました。

川内
花の栽培を通して
楽しみながら心の教育を



5月24日(土)、夜中1時、キビナゴ刺し網漁船が一齐に港を後にして漁場へと急ぎます。早朝5時ごろまで作業を繰り返し5回の網をやり、1晩に60箱(1箱は15kg)以上の水揚げのある船もあります。今甌島では脂の乗ったキビナゴの最盛期です。

鹿島
銀鱗のしぶきを上げて
キビナゴ漁が最盛期



5月5日(月)、甌島漁協上甌青年部が昨年に引き続き、ふるさとの味を提供しようと、キビナゴの即売会を開催しました。早朝から漁に出てキビナゴ1.2トンを用意しましたが、多くの住民や帰省客らが集まり、約2時間あまりで完売するほどの人気でした。

上甌
これからが旬!
キビナゴ即売会



運動公園町の中郷上池に平成18年6月、観光振興につなげようと蘭牟田池から移し放したコブハクチョウのつがいに、待望のひなが誕生。現在、体長約20cmある5羽が水面をスイスイと元気に泳いでいます。温かい目で、その成長を見守りたいですね。

川内
かわいい姿にニッコリ
自然に笑顔がこぼれます



5月1日(木)、山田小学校の児童18人が、地区の方から借りた農園で大切に育てたタマネギを収穫しました。収穫した300kgのタマネギを目の前にして児童たちは驚きと喜びで胸いっぱいの様子でした。このタマネギは卒業生や地区民へ配られたそうです。

東郷
おいしいたまねぎ
収穫したよ!



5月3日(土)、江石自治会で毎年恒例の運動会が、帰省客などを迎えるにぎやかに行われました。漁師の町らしいユニークな種目や、相手の進路を妨害する名物種目「大玉ころがし」などがあり、会場は大きな歓声に包まれていました。

上甌
集落ににぎやかな
歓声が響きました



百次町の山下勝次さん(66歳)の彫金(金属工芸技法)による作品「伊勢エビ」が、話題となっています。この「伊勢エビ」は、厚さ0.3mmの銅版を切り取り、折り曲げ、彫るなどの加工法により制作されたもので、これまでに約30匹の作品を手掛けられまし

川内
美しい伊勢エビに
魅せられて



た。「まだまだ試行錯誤の繰り返し、80点の出来」と山下さんは話されましたが、背中から触角の力強さ、柔軟な腹部・脚・尾の動きなど、一つ一つの細かい部分にも確かな技法が施され、まるで生きているかのよう。素人の領域を超えた「世界に一つだけの作品」です。